

平成 19 年 11 月 4 日 第 4 回 もみじの会

春の「さくらの会」が雨で院内からの桜鑑賞になり、院内からの桜の鑑賞に留まったため、今回の「もみじの会」は 1 年ぶりに外へ出る患者様がほとんどでした。



病院を出発



霞城公園へ

霞城公園といいますと春の桜が有名ですが、秋の紅葉はまた違った風情でとても綺麗でした。



「最上義光」銅像の前にて



心地よい秋風

今回も普段、病棟ではあまり見ることのない患者様の言葉や表情をたくさん見る事ができました。患者様の「風が気持ちいい」、「木々の色がきれい」という言葉を聞き、私たちにはあたり前に感じる事が、患者様にとっては、病院の中で 感じる事ができないものなのだという事をあらためて痛感しました。



色づいた木々



市郷土館(旧済生館)前にて

また、会を終えてからも「楽しい紅葉狩りだった」と意思伝達装置「伝の心(でんのしん)」で打った文章や、病状の進行により肉声での発声が弱々しい状況で「良かったよ」等々の言葉をいただきました。今回も「もみじの会」が患者様、我々スタッフにとって有意義なものとなりました。

(文:4 階南病棟 小成 未紗 / 副看護部長 佐々木ゆみ子)